地方創生応援税制
（企業版ふるさと納税）
R7年度 実績報告書

◆ 働いてよし ひおき事業～安心して働ける安定した「しごと」を創出する事業～

新規創業者スタートアップ支援事業

（担当：商工観光課商工企業係）



●事業内容

本市の地域活性化と産業振興を図るため、市内で創業する者に対して創業に要する経費の一部を支援する。

●事業費実績

３，０５７，０００円

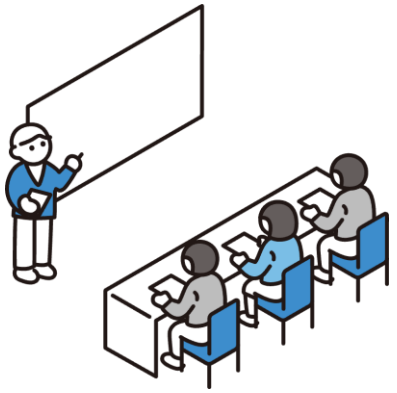
●実績

令和7年度新規創業者スタートアップ支援事業費補助金については、9事業者（うち創業セミナー・創業塾の受講4事業者）が活用し、市内で創業した。

〈参考〉

令和６年度：６事業者（うち創業セミナー・創業塾の受講者２事業者）

令和５年度：５事業者（うち創業セミナー・創業塾の受講者３事業者）



●今後の展望

創業支援事業との施策効果を高めるため、創業までのフォローアップ体制と併せて、創業後も安定的に事業を維持・継続できるようなフォローアップ体制（商工会、鹿児島県よろず支援拠点等との連携）も構築できるように検討を進めていく。

◆ 住んでよし ひおき事業～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業～

マタニティボックス配布事業

（担当：健康保険課健やか母子係）



●事業内容

　赤ちゃんの誕生を祝い、今後の健やかな成長を願うことを目的として、地元企業と連携し赤ちゃんグッズ等が入ったマタニティボックスを配布することで子育てしやすいまちづくりを目指す。

●事業費実績

　４，３８２，４００円

●実績

　出生届出時にマタニティボックスを配布した。アンケート（142人回答）では、93%の人に「満足している」という回答を頂いた。ボックス内の品目については、アンケート結果を基に適宜見直しを行っている。品物に対する評価には個人差があるが、自由意見では「日置市として子育てに対して応援したいという気持ちがうれしい」といった喜びの声等をもらっている。

●今後の展望

　赤ちゃんの誕生を心から祝福し、すべての家庭が安心して子育てをスタートできるよう、今後もマタニティボックスの配布事業を継続していく。

　出産直後の家庭にマタニティボックスを渡すことを機に、新生児訪問や育児相談、各種健診などの伴走型支援をスムーズに展開し、妊娠期からの切れ目ない支援体制を確立するとともに、地域全体で子供の成長を見守る温かい機運の醸成に繋げていきたい。

◆ 住んでよし ひおき事業～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業～

子ども医療費の給付事業

（担当：こども未来課子育て支援係）

●事業内容

子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、子ども医療費の給付を「中学卒業」まで引き続き実施する。



●事業費実績

１９５，４２４，４７４円

●実績

・子どもたちの疾病、怪我に掛かる医療費を子ども医療で対応することで、子育て世帯の負担軽減を図ることができた。特にインフルエンザ等の流行性の疾病において家計を圧迫する医療費を子ども医療で対応することで、経済的理由により受診を控えることで起きる症状の重症化を防ぎ、子どもたちの健康増進に寄与することができた。

・R7年4月開始の子ども医療費窓口無償化以降、医療費対象件数が令和6年度実績より約13,000件の増加。

●今後の展望

・今後も、子ども医療費窓口負担無償化（現物給付）により、経済的理由により受診を控えることによる子どもの病気や怪我の重症化を防ぐとともに、子どもの疾病の早期発見と早期治療促進をより強化する。

・新制度開始に伴う今後の医療費の推移、国や県下の状況を注視し、高校生の無償化対応について慎重に検討していく。

◆ 住んでよし ひおき事業～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業～

過疎地域移住定住促進事業

（担当：地域づくり課定住促進係）

●事業内容

市外から定住を目的に本市に転入し、補助対象地区に移住した場合、一定要件を満たす方に対して助成し、加えて子育て世帯や地元業者による新築等で移住した場合には助成金上限額を増額する。

●事業費実績

８，１９４，０００円



●実績

令和7年度は74人（24世帯）の移住があり、定住促進が図られた。

〈参考〉

R2	R3	R4	R5	R6
87人	118人	135人	121人	101人

●今後の展望

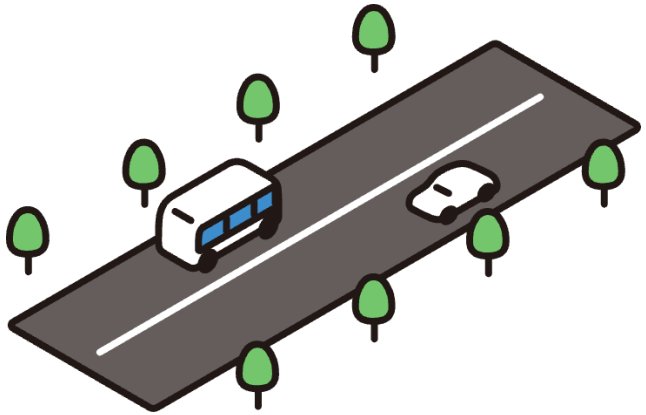
市ホームページへ誘導するため「雑誌SU・MI・KA」での周知、WEB版「SU・MI・KA」へのバナー広告を行っている。本市への移住定住者の9割は県内なので、県内での物件取得検討者へのアプローチに力を入れながら、引き続き各種媒体を通じた情報発信に努める。

（担当：建設課土木建設係）

日置市らしさを感じる魅力と活力あふれるまちづくり計画（市道）

●事業内容

国道3号・270号を中心に主要地方道や県道にアクセスする市道24路線及び林道2路線の道路拡張等を行うことにより、観光資源を結ぶ効率的な道路網のネットワーク化をはじめ、森林施業における効率化を図る。



●事業費実績

９７，２４５，５００円（うち、寄附充当事業１７，４５２，０００円）

●実績

令和7年度において、国道3号及び270号を中心に、観光周遊ルートやアクセス道の道路拡幅等の整備を進めた。観光入込客数はコロナ禍前の水準に戻りつつあり、移住・定住者も目標値を達成し、引き続き高い水準で推移している。

令和7年度整備路線：市道印口松元線、市道新町向江線、中伊作田鈩口線、新久線、新村中川線、坊野野添線、野田梅木線、市道長里湯之元線

●今後の展望

未改良区間の解消に向け、個別路線の計画について見直しを行う。

◆ 訪ねてよし ひおき事業～ひおきへの新しい人の流れをつくる事業～

観光PR武将隊プロジェクト

（担当：商工観光課観光戦略係）

●事業内容

　戦国島津ゆかりの地である本市を武将のまちとしてイメージ戦略を図り、様々なイベント・行事等で甲冑姿の武将隊が観光プロモーションを行うことで、武将として体験できるまちづくりを目指す。

●事業費実績

　２，０４４，５２８円



●実績

【取組内容】

　ラジオ出演（毎月1回）/県内イベント出演（11回）/県外イベント出演（4回）/フラーゴラッド鹿児島ホームゲーム出演（4回）/取材対応（1回）

【甲冑等着付け体験】

・観光案内所での来訪者：75人　　・甲冑等着付及びVR体験者：125人

●今後の展望

　今後は、従来の武将隊活動や甲冑着付け体験といった職員の人的資源に依存した施策にとどまらず、甲冑着付け体験事業を外部に委託するなど、職員に負荷の少ない甲冑着付貸出事業の広報・周知活動を強化する。これにより、職員の業務負担軽減を図りつつ、「戦国島津ゆかりの地」としてのブランド力を持続可能な形で確立・推進していく。武将隊員についても一般市民に公募を行い、担い手の育成を図る。

（担当：商工観光課観光戦略係）

クラフトマンヴィレッジ美山ツーリズム戦略推進プロジェクト

●事業内容

本市の特色ある観光資源である薩摩焼を軸とした観光施策を展開し、「クラフトのまち」としてのブランディングと交流人口の拡大を図る。



●事業費実績

１２，９４５，７９０円

●実績

関係者へのヒアリングや実証のほか、主に以下の取り組みを実施。

・県下全域を対象とした行動動態の取得及び分析に係る勉強会（７回）
・観光戦略５本の柱に基づく観光ルート（２本）の検証
・専門家による商品販売力強化支援（７社）
・テーブルウェアフェスティバルへの出店支援（２社）

●今後の展望

人流や決済データ等の客観的根拠に基づき、観光戦略と連動したマーケティング体制を確立させ、地域の「稼ぐ力」の強化を推進する。また、高齢事業者へのGBP等の伴走支援や観光ポータルサイトの公開により、地域全体の情報発信力を底上げし、現地への誘客動線や観光体験化を促進する。さらに、空き家・空き地に関する情報共有・発信や、窯元を中心とした後継者育成など、官民一体の取組みを牽引する中間支援組織の設立を支援する。今後は、新たな観光拠点の整備検討や国際交流による産業波及も見据えながら、持続可能で自走する地域経済循環モデルの構築を目指す。

◆ ふれあいあふれてよし ひおき～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる事業～

生ごみ回収事業

（担当：市民生活課生活環境係）

●事業内容

　家庭などから排出される生ごみを回収し、堆肥化することで、環境にやさしい循環型社会を目指す。





●事業費実績

　２５，６７８，７７９円

●実績

　SDGsの普及による効果や、市民が燃やさずリサイクルすることを選択し、CO_2の排出抑制に理解と協力を頂いており結果が出ている。地域差があるものの、今まで取組んでいない地域からも事業に参加したいなどの話を聞き、説明会等を行いながら参加自治会の増加を推進している。

　また、CO_2削減量は年間約1,700t、事業開始からの生ごみのリサイクル量は約9,200tを達成することができ、大きく地球温暖化防止に貢献出来ている。

●今後の展望

　SDGsが普及し、市民の理解と協力が更に大きくなったように感じる。中でも、未だに事業に取り組むことが新たなごみ出しの負担になるなどの消極的な意見も聞くことがあるので、様々な場面を通じて、この事業の良さをアピールしながら目標の達成に向けて取組む必要性を感じる。

◆ ふれあいあふれてよし ひおき～地域の連携を深め、若者から高齢者まで、安心して暮らせるまちをつくる事業～

地域課題解決に向けた取組

（取組全般担当：企画課政策推進係）
（コンソーシアム担当：企画課国際交流・男女共同参画係）

●事業内容

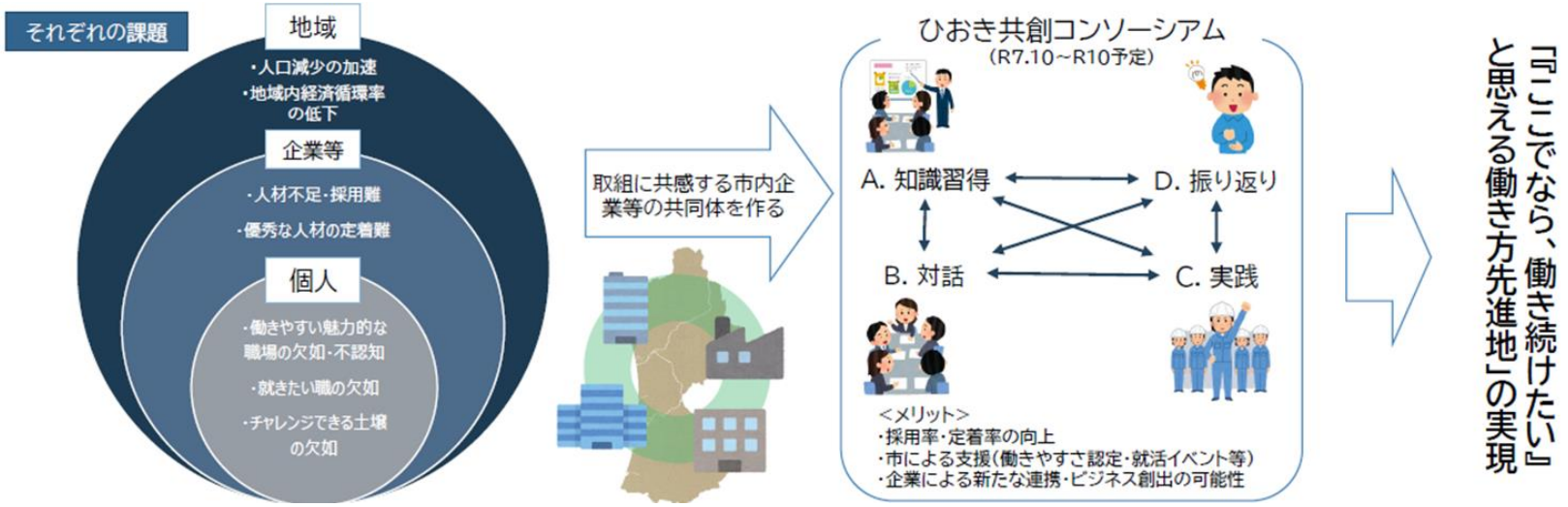
地域課題が多様化する中で、住みやすく安心して暮らせるまちづくりを目指すため、地域内外の個人や企業等の多種多様なパートナーと連携して課題解決を図る。

●事業費実績

８，９３８，３３５円

●実績

（1）連携協定：4件
（2）民間事業者との取組：6件
（3）課題解決件数：2件



●今後の展望

≪取組全般≫多様化する地域課題の解決に向けて、引き続き他課と課題を共有しながら、新たな企業等とのマッチングや連携を図る。

≪コンソーシアム≫企業アセスメント（従業員満足度調査）を各企業で実施し、企業の現状を可視化する。また、「未来の求人票」の作成により、2028年度の組織の理想像を可視化する。（2か月に1度、若者や女性との対話会を開催し、働くことに関する価値観やキャリア感を聞く場を設ける。）